

## 美作材需要拡大講演会次第

日時：平成25年11月8日（金）13時30分～  
場所：岡山県立図書館（デジタル情報シアター）

1. 開 会
2. 開会あいさつ
3. 講師紹介
4. 講 演  
\* 演題：これからの建築家像  
[講 師]  
株式会社 佐川旭建築研究所  
代表取締役 佐川 旭 先生
5. 質疑応答
6. 休 憩
7. 講 演  
\* 演題：美作産材の特長と必要性について  
[講 師]  
岡山県農林水産総合センター 森林研究所  
副所長（農学博士） 河崎弥生 先生
8. 質疑応答
9. 閉会あいさつ
10. 解 散

## 講師：佐川 旭 先生

会社名：株式会社 佐川旭建築研究所  
会社住所：東京都港区西麻布3-21-20-611  
電話：03-3405-5992

建築家／女子美術大学非常勤講師  
1951年 福島県生まれ

- ・「つたえる」「つなぐ」をテーマに個人住宅から公共建築まで幅広い実績をもつ。
- ・生活総合情報サイトA I I A b o u tの「家を建てる」のナビゲーターとしても活躍。
- ・地元の木材を100%使って建物をづくりあげる森林資源の「地木地消」を実践。
- ・認定NPO法人アジア教育友好協会の理事としてベトナム・ラオスの山岳地帯に学校をつくり、日本の小学校との交流事業や福島県飯館村復興委員として帰村に向けての村づくりを行っている。
- ・第7回木材活用コンクールで岩手県紫波町立上平沢小学校が最優秀賞を受賞。



佐川 旭 AKira Sagawa

一級建築士  
日本建築家協会会員  
女子美術大学非常勤講師

### 近年の公共設計

2010・3	福島県飯館村エコハウス普及センター	監修
2007・3	岩手県紫波町立星山小学校	設計監理
2007・3	学校法人石川高校体育館	設計監理
2004・3	岩手県紫波町立虹の保育園	設計監理
2003・3	岩手県紫波町立上平沢小学校	工事監理
2002・3	岩手県紫波郡紫波町消防屯所	設計監理
2001・11	岩手県東北本線紫波中央駅駅舎	設計監理
2001・3	防衛庁朝霞庁舎	改修設計

### 主な著書

2012	最高の住まいをつくる「間取り」の教科書	PHP研究所
2009	家庭が崩壊しない間取り	マガジンハウス
2004	一戸建てはこうしてつくりなさい	ダイヤモンド社

## 講師：河崎 弥生 先生

職 場 名：岡山県農林水産総合センター 森林研究所  
職 場 住 所：岡山県真庭市勝山1884-2  
電 話：0867-44-3367

主たる専門分野：木材乾燥学  
1956年 福井県生まれ



河崎弥生 Yayoi Kawasaki

森林研究所副所長  
木材加工研究室長  
農学博士

### \* 社会的活動

- ① 日本木材学会 代議員
  - ・木材と水研究会 代表幹事
  - ・乾燥部門サブコディネーター
- ② 森林バイオマス利用学会 理事
- ③ 秋田県木材加工推進機構技術コンサルタント（木材乾燥部門）
- ④ その他
  - （財）日本住宅・木材技術センター、（社）全国木材組合連合会、
  - （一社）日本木材加工技術協会、木材乾燥技術研究組合等の専門委員等を  
これまで歴任している。

### \* 主な著書（共著）

- ① 21世紀に向けた木材乾燥技術。日本木材学会（1998）
- ② わかりやすい樹種別乾燥材生産の技術マニュアル。  
（社）全国木材組合連合会（2004）
- ③ 地域資源活用型木造住宅の提案。日本木材学会（2004）
- ④ 新版 わかりやすい乾燥材生産の技術マニュアル。  
（社）全国木材組合連合会（2006）
- ⑤ 産地・地消型のビジネスモデルを学ぶ。日本木材学会（2007） ほか

# 「これからの建築家像」

～地域の無垢材や木のもつ良さ～

25年11月8日

佐川 旭

- かた、かたち……かたちをつくりたい
- 日本の森と日本人の自然観  
森林率、家畜の民と森の民、循環と再生、神社、自然、鎮守の森、数えと溝、輪廻転生、す、15の数字、豊という漢字、さくら、神戸
- 日本の住まい  
通り庭、坐る、間の文化、間戸と窓、床の間、欄間、玄関、鴨居と鴨居、適材適所
- 現代社会を読み解く  
戦前～戦後（支え合う～個人主義、経済主義、地域崩壊）  
動脈社会～静脈社会、土着～着土、豊かさ～分断（たこつぼ）  
ツルツルとザラザラ、縦軸～横軸、情報の量、言葉の賞味期限  
自己有用感、伝える～伝わる、ホモサピエンス～ホモサスペンス
- スライド  
日本人の自然観、地域力をつくる建築作品でない建築、川上から川下へ  
建築家のはたす役割、無垢材を使うことは
- これからの社会  
コミュニティービジネス、社会貢献、地域分散型の社会  
小さな循環と連携（生き方を確かめ合う）、4つの寿命が大切  
住足りて礼節を知る
- 最後に…